

名古屋アイリスロータリークラブ

RID2760 THE ROTARY CLUB OB NAGOYA IRIS
人類に奉仕するロータリー ROTARY SERVING HUMANITY
2016-17 年度 国際ロータリー会長 ジョンF. ジャーム

例会日:毎週水曜日 13:00~14:00

例会場:ANA クラウンプラザ グランコートホテル名古屋

創 立:2013 年 6 月 5 日

会 長:櫻井 孝充 「信頼に基く寛容と選択」



■ 斉唱 君が代 奉仕の理想

■ 司会 生田 瀬津子 会員

■ 出席者報告 出席者数 23 名 / 会員数 37 名

出席率 62.16%

前々回(第 181 回)修正出席率は 86.48% (32/37)

■ ゲスト

名誉会員 八神 基 様

■ ニコボックス報告

八神 基 会員

入会候補者 澤田さんようこそ!

浦野特別代表が主宰の「フォト俳句写真展」が 29 日まで開催されています。栄方面へお出かけの節はお立ち寄り下さい。私の駄作も展示されています。

櫻井 孝充 会長

入会候補者の澤田直美様ようこそアイリス R C において下さいました。稲沢市荻須記念美術館 館長山田美佐子様本日の卓話楽しみにしておりました。よろしくお願いします。感謝

菊池 富士子 幹事

八神名誉会員、入会候補者の澤田直美様本日はようこそアイリス R C にお越しいただき、ありがとうございます。稲沢市荻須記念美術館 館長山田美佐子様、卓話楽しみにしております。よろしくお願いします。

加藤 正広 会員

昨日、蒲信さんのコンペで初めて優勝させて頂きました。勝因は、恵まれたハンディキャップと先日、

初めて見た女子プロトーナメント中京レディースの影響で、インドアへ練習に行った成果です。ゴルフは練習が一番です。

ニコボックス合計 7, 0 0 0 円

■ 櫻井会長挨拶

こんにちはアイリスロータリアンのみなさん。

愛知県内には素敵でいろいろな面で優れた美術館が沢山あります。



その一つに、稲沢荻須記念美術館があります。

今日はその御話を少しさせていただきます。この美術館は画家荻須高德が、世界に羽ばたき、世界の人々の心を魅了した、彼の業績を讃えるため、また市民

の美術、文化振興に寄与することを目的とし、1983年に、稲沢市が建設した美術館です。現在、美術館は緑豊かな稲沢公園に囲まれ、荻須画伯が生前に「生涯にわたる画業を概観出来るように」と稲沢市に寄贈した作品を中心に、稲沢市が収集した作品による常設展示と、広く市民に親しまれる美術館としての様々な展覧会、荻須画伯がパリで使用していたアトリエの復元施設等を見る事が出来き、世界でも最も荻須画伯の作品に逢える美術館です。荻須画伯の生家もこの美術館から車で5分ほどの道程にあります。フランス政府から、レジオン・ドヌール勲章、パリ市からメダイユ・ド・ヴェルメイユを授与されました。このことは日本国にとってもとても名誉なことと思います。フランスに存在する荻須画伯の絵を数多くのフランス国民をはじめロータリアンも現在も楽しんでいることを想像すると何かしら嬉しくも思います。

さて、本日はその稲沢荻須記念美術館館長、山田美佐子様には荻須高德画伯のあまり知られてない世界観も含め、たっぷりと卓話を賜りたいと思います。

では山田美佐子館長よりよろしくお願い申し上げます。感謝。

■本日の卓話

稲沢市荻須記念美術館 館長山田美佐子様

稲沢市荻須記念美術館は、愛知県稲沢市の稲沢公園内にある公立の美術館です。1983年に開館した荻須高德の個人美術館。建物は、1985年に第26回BCS賞を受賞しています。また、1996年に荻須がパリで使用していたアトリエを復元した際には、1997年の第4回愛知まちなみ建築賞を受賞しています。

荻須が生前稲沢市に寄贈した作品を中心に常設展示しているほか、特別展や企画展が開催されています。また、復元されたアトリエも1996年4月2日から一般公開されています。

荻須は1901年、愛知県中島郡（現・稲沢市）の地主の子として生まれる。愛知県立第三中を経て、1921



年に上京、1922年に東京美術学校に入学。卒業後、渡仏。荻須は画家として活動期間の大半をフランスの首都パリで過ごした。初期の作品は佐伯祐三と同じく、ヴラマンクやユトリロの影響が見受けられ、パリの街角、店先などを荒々しいタッチで描いたものが多かったが、その後穏やかなタッチで造形性に富んだ構成でパリの都市風景を描くようになる。

以上